



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

No. 285

2024.5 ▶ 6

発行日 2024年5月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

展示リニューアルのご案内

アフリカ展示に続き、南アジア展示が一部リニューアルしました。それぞれの展示をご担当された先生方に、そのコンセプトと新しく加わった展示資料をいくつかご紹介いただきました。みなさまのご来館をお待ちしております。

アフリカ展示 | プロジェクトリーダー 鈴木 英明 (民博准教授)

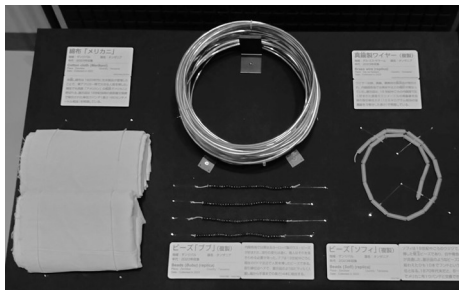
今回のリニューアルでは、アフリカの多様性がひとつの柱となりました。アフリカ大陸はユーラシア大陸に次いで世界で2番目に大きな大陸です。そこに現在、15億人近くが生活しているとされます。また、みんぱくのアフリカ展示場にはアフリカ大陸周辺の島、例えばマダガスカル島に関するものも展示されています。私たち研究者も、「アフリカとは?」と聞かれて、単刀直入に答えられないというのが正直なところ。そうした豊かな多様性を各セクションから感じ取ってほしいです。

南アジア展示 | プロジェクトリーダー 松尾 瑞穂 (民博准教授)

今回のリニューアルでは、南アジアの多元性と「いま」をより伝えることを目指しました。パキスタンの渓谷地域や北東インドのナガランドなど、これまでは扱ってこなかった地域の資料が新たに展示されています。また、南アジア展示の目玉の一つであるドゥルガー女神像も数十年ぶりに新しくなり、ネパールのバイラヴ儀礼の衣装なども加わりました。都市の大衆文化コーナーには、健康に関するセクションが設けられ、伝統医療のアーユルヴェーダやヨーガの新しい動きについて紹介しています。また、染織の伝統と現代のコーナーのサリーやドレスは全て一新され、最新のファッションを感じていただけます。

Pick Up! 東アフリカの長距離交易

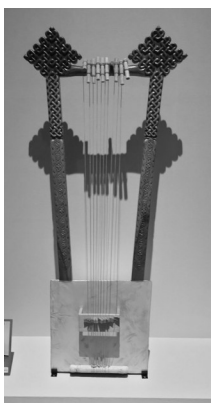
アフリカ東部では19世紀に長距離交易網が発達しました。新たに展示された綿布、ビーズ、真鍮線は当時の長距離交易網で通貨のようにして交換された代表的な品々です。残念ながら、すべて複製品ですが、当時の交易単位でそれぞれ展示しています。このような展示は、世界中どこを探しても、みんぱくでしか見ることのできないものです。(鈴木英明先生)



左:綿布「メリカニ」、中央上:真鍮製ワイヤー(複製)、中央下:ビーズ「プブ」(複製)、右:ビーズ「ソフィ」(複製)

Pick Up! ヴェゲナ

ヴェゲナはエチオピア北部にひろくみられる大型の竖琴です。エチオピアの代表的な宗教であるキリスト教エチオピア正教会に付随する精進期間を中心に、教会や個人の邸宅において神への祈りとともに奏でられます。「死の床に瀕した聖母マリアの苦しみを和らげるために天使ダーウィットが奏でた楽器」、「10本の弦はモーセの十戒をあらわす」等、この楽器に関しては数々の言い伝えが残されています。奏者は、弦の音色にのせて、聖書のなかの逸話や、世の無常に関して切々とつぶやくように弾き語ります。(川瀬慈先生)



竖琴「ヴェゲナ」

Pick Up! アーユルヴェーダ薬草染めのヨーガ製品

草木染めの布はよく知られていますが、ここで紹介するのは、南インドのケーララ州の工房で作られた、アーユルヴェーダの薬草で染めたヨーガ製品です。アーユルヴェーダは病気の症状に働きかけるよりも、薬草やオイル、鉱石、食物などを用いて体質から改善していくホリスティックな医療です。薬草染めの衣服は、生薬や食事として薬草を体内に摂取するだけでなく、身につけることで肌からも効能を取り入れて健康になることを目指すものです。(松尾瑞穂先生)



左:アーユルヴェーダ製品(染髪剤)と化粧品、右奥:ヨーガマット、右手前:女性用衣服(ヨーガ用)

事務局スタッフの注目!

バイラヴ仮面舞踊衣装

ネパールのバイラヴ儀礼の舞踊衣装が展示場で目を惹きます! 本館2階シアタールーム2〜5では映像資料も公開中です。ぜひご覧ください。(番組番号 7241「バイラヴダンス」)



バイラヴ仮面舞踊衣装

みんなくの初夏の展示、ただいま開催中！

特別展



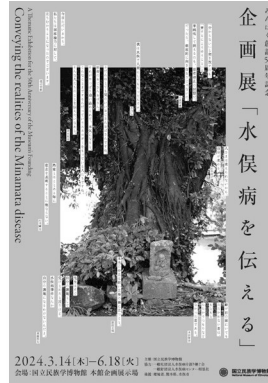
みんなく創設50周年記念特別展 日本の仮面 —— 芸能と祭りの世界

会期：2024年6月11日(火)まで
会場：特別展示館

関連企画

第548回友の会講演会
仮面とわたし
講師：吉田 憲司(民博館長)
日時：5月4日(土・祝) 13:30～15:00

企画展



みんなく創設50周年記念企画展 「水俣病を伝える」

会期：2024年6月18日(火)まで
会場：本館企画展示場

関連企画

第549回友の会講演会
企画展「水俣病を伝える」の舞台裏
—— フィールドワーク展示の試み
講師：平井 京之介(民博教授)
日時：6月1日(土) 13:30～15:00

▶▶ 特別展図録、好評発売中です！

みんなく創設50周年記念特別展図録 『日本の仮面——芸能と祭りの世界』

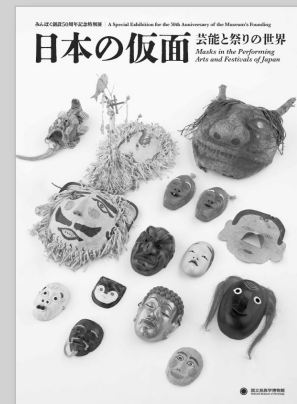
国内各地には、仮面がさまざまなかたちで用いられ、重要な役割を果たしている芸能や祭りが伝えられています。多様性に富む日本の仮面のあり様を特別展の構成に即して紹介します。

笹原 亮二 編
国立民族学博物館 発行
本文192頁 A4判

会員価格 1,985円(税込)
定価 2,090円(税込)

お問い合わせ

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ(水曜日定休)
e-mail shop@senri-f.or.jp
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
<https://www.senri-f.or.jp/shop/>



お手続きがさらに便利に

ご入会・ご継続のお手続き方法は、 オンラインでのクレジット支払いが便利です！

ご自身のPC・スマートフォンから24時間いつでもどこでも
みんなく友の会のご入会・ご継続のお手続きが可能です。
便利になったオンライン決済をぜひご利用ください。
※2024年5月現在、みんなく館内の友の会カウンターでのお手続きは現金またはau PAY(QRコード)のみご利用いただけます。

https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/about/join/#online/



友の会会員限定企画です。 \\ ゲストも登場！ \\

中牧先生の理事長サロン

みんなく友の会を運営する千里文化財団の理事長は、友の会会員のみなさんにもなじみ、みんなく名誉教授の中牧弘允先生です。
会員交流のための企画「理事長サロン」。友の会へのご要望や研究分野へのご質問に、中牧理事長が答えます。6月にみんなく創設50周年を迎える今回は、藤井龍彦名誉教授をお招きし、対面で開催いたします。みなさま、ぜひご参加ください。



中牧理事長

日時：6月1日(土) 15:30～16:30
会場：第5セミナー室(予定)

事前申込は不要です。当日受付にて会員証をご提示ください。
同日開催の第549回友の会講演会とあわせてご予約ください！

ご案内

館内催し 会員先行予約について

みんなくゼミナール、みんなく映画会、研究公演など、館内で開催する一部の催しには、友の会会員のための先行予約枠があります。先行予約の受付期間・申込方法については『月刊みんなく』12-13 ページ「みんなく回覧板」の情報を参照のうえ、期間内に友の会事務局までお申し込みください。

申込先着順／本人を含む 2 名まで

【申込先】千里文化財団友の会事務局 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く)

5・6月のイベントスケジュール

■みんぱく創設50周年記念特別展

6/11(火)まで

「日本の仮面——芸能と祭りの世界」

■みんぱく創設50周年記念企画展

6/18(火)まで

「『水俣病を伝える』」

●友の会講演会【オンライン聴講は要事前申込】

5/4(土・祝)吉田憲司(※)

6/1(土)平井京之介(※)

※5月は終了後、展示見学会あり

●みんぱくゼミナール【要事前申込】

5/18(土)福岡正太

6/15(土)鈴木昂太

●みんぱくウィークエンド・サロン

5/5(日・祝)福岡正太

5/12(日)日高真吾

5/26(日)山中由里子

6/30(日)韓敏

●みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ

【要事前申込】

5/3(金・祝)「島と人とメンドン」＜受付終了＞

5/25(土)「GAGA:ハヨンの家族」

6/8(土)「水俣一揆——一生を問う人々」

●その他の催し

5/11(土)～5/12(日)

みんぱく創設50周年記念国際シンポジウム

「海域からみる人類の文化遺産」(※)【要事前申込】

6/23(日)

音楽の祭日2024 in みんぱく

◆予約の必要な催し、すでに満席になっている催しがございます。また、会場とオンライン配信の併用(※印)で実施する催しもございます。詳細はみんぱく、ならびに友の会のホームページをご確認ください。

◆イベントの参加には必ず会員証をお持ちください。

友の会講演会のご案内

お申し込みには、友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

■大阪

・会場(定員90名)、オンライン配信ともに事前申込先着順です。

・会員は会場参加に限り予約が不要です。会場受付にて会員証をご提示ください。

■東京

・事前申込先着順です。オンライン配信はございません。

※大阪・東京ともに会場での聴講は会員以外の方もご参加いただけます。
(参加費500円)

大 阪

第549回

【みんぱく創設50周年記念企画展「水俣病を伝える」関連】 企画展「水俣病を伝える」の舞台裏 ——フィールドワーク展示の試み

講 師：平井 京之介(民博教授)

日 時：6月1日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

熊本県水俣・芦北地域では、展示やガイドツアー、写真、語り部講話などを通じて、水俣病の歴史や被害者の苦しみ、公害の経験をいかしたまちづくりなどを伝える活動がさかんです。本講演では、まず水俣でのわたしのフィールドワークについてお話し、その後展示場へ移動して、企画展「水俣病を伝える」の見どころを紹介します。

※講演時間内で講義と企画展示場の見学をおこないます。(要会員証もしくは展示観覧券)
オンライン配信は講義の時間のみとなります。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/549tomo/>



第550回

人類にとって宗教とはなにか

講 師：竹沢 尚一郎(民博名誉教授)

日 時：7月6日(土)13:30～15:00(開場13:00)

参加方法：①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

人類の誕生から700万年。その長い歴史のなかで、宗教はいつはじまったのでしょうか。世界には何億もの信者のいるキリスト教や仏教が存在する一方で、日本だけにある神道や狩猟採集民の宗教も存在します。これらの宗教は共通する特徴をもつのでしょうか。人類の歴史を振り返りながら、宗教とはなにかを考えたいと思います。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/550tomo/>



東 京

第137回

サウンド・アーカイブと民俗芸能の再活性化 ——みんぱく所蔵東洋音楽学会資料を事例として

講 師：植村 幸生(東京藝術大学教授、民博特別客員教員)

日 時：7月27日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会 場：モンベル渋谷店5階サロン(定員50名)

協 賛：株式会社モンベル

※オンライン配信はございません。

※3月の東京講演会と会場店舗が異なります。気をつけてご来場ください。

みんぱくは、東洋音楽学会による1960～70年代の日本民俗音楽のフィールド録音を大量に保管しています。わたしは其中で三匹獅子舞という民俗芸能の音源を現地の伝承者に聴いていただく「還元」を進めています。60年ぶりによみがえる録音は芸能の継承や復興に貢献できるでしょうか。そこからサウンド・アーカイブとしての博物館の役割を展望します。

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/137tokyo/>



ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



■第545回■2024年2月3日(土)

新たな知の創造に向けて

宮前知佐子 (民博助教)



「コミュニケーション」「多様性」「情報」「技術」をキーワードにAIが生成したイラスト。
Generated by Midjourney, 2023年

博物館は、文化資源を収集して
いるだけではありません。収集した
文化資源の情報を記録し、記録し
たデータを用いて研究をおこない、
展示などを通じて研究成果を発信
しており、活用しやすい情報の
かたちについても模索しています。
発表者は、そうした情報の蓄積の
ため、三次元計測などのデジタル
技術を博物館に導入するための研
究をおこなってきました。研究成
果を活かし、博物館では、最先端
のツールを用いてデジタルドキュメ
ンテーションが実施され、さまざ
まなタイプのデジタルデータを蓄

積しつづけます。また、発表者
は、蓄積したデータをVR (Virtual
Reality) のコンテンツや3Dプリン
タを用いたレプリカ制作に応用す
るための研究もおこなってきました。
前半では、発表者が携わって
きたこれらのプロジェクトのうち、
今、博物館で蓄積されている情報
に関する研究成果を紹介しました。

後半は、今後、博物館では「情報」
とどのように向き合っていくべき
なのか、という研究課題に関して、
デジタル先進国と呼ばれる国での
動向調査から得られた知見を報告
しました。デジタル化がもたらす
社会の姿として、ノルウェーにお
けるキャッシュレス化やペーパーレ
ス化に付随する日常生活の変化や、
主に公共の図書館が担う役割・サー
ビスの変容などを取りあげました。
それぞれのトピックスの合間に
は、『月刊みんぱく』の「ぱくっ!
とファイルめし」をなぞらえて、調
査中に出会った印象深い他国の食
習慣についてもお話ししました。

■第546回■2024年3月2日(土)

周縁から読み解く文明の形成

—— 神殿と文明の関わりを探る

松本雄一 (民博准教授)

アンデス文明の形成過程におい
て、その「周縁」とされた地域の
実態はこれまで謎に包まれていま
した。しかし近年の考古学調査の
成果からは、まさにこの「周縁」
が希少な財の流通に大きな役割を
果たし、文明の形成に大きな役割
を果たしたことが明らかになって
います。

今回のみんぱく友の会講演会で
は、最新の調査成果を通じて、「周
縁」からアンデス文明の形成過程
を考えてみました。私が調査を行っ
ているカンパナユック・ルミ遺跡は、
ペルー中央高地南部という従来あ
まり重視されてこなかった地域に
位置しています。ペルー人、カナダ
人研究者と協力して調

査を続けていく中で、こ
の遺跡が規模の大きな
神殿であり、六〇〇キ
ロメートル離れた北高
地の大神殿チャビン・デ・
ワントルと、黒曜石を
通じた直接的な交易関
係にあったことが明らか
となりました。これま



ペルー中央高地南部に位置するカンパナ
ユック・ルミ遺跡 (紀元前1000-500年)
の神殿建築。撮影・松本雄一、2008年

で「周縁」とされてきた地域は実は、
黒曜石という資源を通じてアンデ
ス文明の形成に重要な役割を果た
していたのです。そして、そこに住
む人々もまた一方的に他地域から
の影響を受けるだけの受動的な存
在ではありませんでした。人々の
日常生活の舞台となった居住域の
調査からは、はつきりと分かれて
いた在地と外来の宗教が融合して
いく過程が明らかになったのです。
在地の人々は、外部からの情報を
取捨選択し、その宗教を自分たち
に合わせて仕立て直していたのか
もしれません。古代文明をめぐる
「周縁」での調査は今後ますます重
要となっていくでしょう。

本紙掲載の情報は、2024年4月19日時点で決定している内容です。諸事情により急遽予定を変更する場合があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会

公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)

電話：06-6877-8893 (平日9:00~17:00)

FAX：06-6878-3716

e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報

ホームページ
[https://www.
minpaku.ac.jp](https://www.minpaku.ac.jp)Facebook
[https://www.
facebook.com/
MINPAKU.official](https://www.facebook.com/MINPAKU.official)

国立民族学博物館友の会 最新情報

ホームページ
[https://www.senri-f.
or.jp/minpaku_
associates/](https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/)Facebook
[https://www.
facebook.com/
minpakutomo/](https://www.facebook.com/minpakutomo/)